

	学年	組	番号	氏名	事前アンケート					事後アンケート					7. 今回の講義に関して、意見・感想などを書いて下さい。	
					1. 興味・関心	2. 知識の深さ	3. 考え・意見	4. 未知のもの	5. 事前準備	1. 興味・関心	2. 知識の深さ	3. 事実と意見	4. 自分への影響	5. 疑問		6. 今後
1	1	9	1	浅田 恵人揚	4	1	3	1	2	5	4	4	4	5	4	医療という世界において、患者の傷病をいやすというのが根本にありながら、それを絶対条件としないほうが適切である場面もあるということを知って、とても複雑だと感じました。また、そのようになる場面も国によって宗教によってさまざまに異なっていて難しいです。
2	1	9	2	浅田 結衣	3	1	1	2	3	4	4	3	3	3	3	「インフォームド・コンセント」など現在は患者本人も納得、理解して治療が受けられる制度が整えられていると知った。救急救命士などたくさんの方のおかげで日々を安心して過ごせるのだと思った。
3	1	9	3	石川 敦久	5	3	4	4	2	5	5	5	5	4	5	化学倫理について、あまり知識がなかったので、今後研究をしていく中で考えていくべき指針をつかめたと思う。医療についての倫理は他分野よりもより注意深くあるべきだと思ったが、具体的に考えることができた。
4	1	9	4	上森 美波	4	1	1	2	4	5	3	5	4	2	4	貴重なお話をありがとうございました。はっきりとした基準がないのでその時その時で判断、対応しなければならぬと改めて感じました。医師の方々もたくさん考えながら判断してくれているので、自分の感情的にならずに考えるべきだと思いました。
5	1	9	5	大河原 陽彩	4	2	2	2	3	4	5	3	3	4	4	インフォームド・コンセントという言葉は近年使われるようになったものであるというイメージがあり、医療の倫理は最近注目されているのだと思っていました。紀元前から倫理という考えが存在していたことに驚きました。安楽死を許す、許さないなど治療の仕方にはその国々の宗教や考え方なども関係していることがわかりました。
6	1	9	6	大谷 凌右	2	1	1	1	1	3	4	3	2	3	3	
7	1	9	7	大地 花菜	5	1	2	2	2	4	4	3	3	4	4	「インフォームド・コンセント」というワードは聞いたことがありましたが、最近私自身も病院などでの説明が詳しくなったと感じることはありましたが、今回の講義で様々な規定や留意点があることを知ることができて良かったです。病院での行為は倫理に基づいて行われていると学びました。また、質疑応答などの内容も含めて、医師は専門的な知識はもちろんのこと、価値観の理解や判断力、多角的にとらえる力なども求められているのだとわかりました。貴重なお話を聞いて良かったです。ありがとうございました。
8	1	9	8	岡田 成翔	4	1	5	5	4	5	3	3	3	4	4	・トリアージについて 私はトリアージが必要となる状況下においては、社会的に重要度の高い人間を優先して助けるべきであると考えます。例えば医師が中程度の症状で一般人が重傷を負っている場合、回復すれば他の患者を救助する可能性が高い意志を優先的に助けることが、結果的に多くの人命を救えるのではないかと考えます。・インフォームド・コンセントについて 尊厳死を望んだ患者の家族の要請に従って、塩化カリウムを注射した医師が殺人罪で起訴されたこと聞いた。私は、医療は人の人生を豊かにするためにあると考えるため本人の意見を聞くのが不可能な場合、尊厳死に及ぶことに賛成する。ベッドで寝たきりになり、肺にはチューブを取り付けられる。倫理とは、自分から遠く離れたものだと感じていたが、そうではないと分かった。医療関係、研究者として生きていく上では切っても切り離せないものだと分かった。その時代、県国によって大きく道徳は変化する、つまり、倫理も変化するらしいので、その点わきまえて学びたい。倫理とは今日学んだことだけでは収まらないので日々学び続けたい。
10	1	9	10	小川 空輝	3	1	1	1	4	4	5	5	4	3	3	
11	1	9	11	片山 仁葵	2	2	2	2	2	5	5	4	4	3	3	僕自身医療に関することに興味があるので、今回の講義はとても面白いものだった。特に安楽死に関する区別(積極的・消極的・間接)に関してインフォームド・コンセントの自分の意志というところと関連して、考え方や価値観で意見が変わるのではないかと考えた。自分自身も積極的に安楽死でも傷病者が苦しんでいるのであれば悪くないのではないかと考えた。化学倫理とは何なのかはよく知らなかったけど、古くから考えられてきたものであり、倫理というだけあって筋が通っていて話を聞いていて楽しかった。
12	1	9	12	片山 椋太	3	1	1	2	1	5	5	5	4	3	4	医療における倫理の重要性とその難しさがよくわかりました。倫理はすべて統一してしまえばよいというわけではなく、最先端の科学には最大限の倫理が必要なんだと感じた。
13	1	9	13	金光 幹太	5	1	1	1	1	3	5	4	3	2	3	医学を学ぶ上で、理系科目はもちろん、インフォームド・コンセントや安楽死についての問題など幅広く学ぶことの重要性について知ることができた。
14	1	9	14	河南 聡一郎	4	3	3	3	2	4	4	4	4	3	4	こと医療において、一般的な倫理観では判断しきれないことも多くあるのだと改めて感じた。
15	1	9	15	川西 凜子	4	2	3	4	4	4	5	4	3	2	4	医療系は人の命にかかわる重要なことだから、扱いが難しいけれど自分なりに意見を持ちたいと感じた。
16	1	9	16	岸本 慧吾	3	2	2	2	2	4	5	4	4	4	3	盲瘻にかかった本人にそれを知らせていなかったことに驚いた。本人が望まない治療を家族が選んでしまう可能性もあると思うので、本人に病名は伝えるべきだと感じた。本人が延命治療を望まないとしても残された時間はその本人にとってかけがえのない時間になることは間違いないので、本人の意思表示は重要であると感じた。個人的に安楽死は本人が望んでいるなら、積極的安楽死であったとしても良いと考えている。まだ生きられる余地が十分あるなら生きるべきではあるが、残された時間もわずかでその間に激しい身体的・精神的苦痛を伴うことも多いと思うので、僕自身何もできないまま苦しみが残るなら早く解放してほしいと願う。国によって基準はさまざまであると思うが人それぞれ考え方の違いはあると思うのでその人が望む治療を受けられる環境づくりが大切だと考えた。
17	1	9	17	木山 翔太	5	3	4	3	4	5	5	5	5	5	5	医学部進学を目指している僕にとってこの講義はとても有意義だった。実際に医師として働く藤岡先生の話には説得力があり、特に興味をひかれたのは、トリアージについてだった。災害現場で複数の医師がいたときその医師によって、優先度の選別には多少は出るし、搬送の時に必ず平等になるように順番に治療に当たるとは限らないと思ったので、倫理の問題が絡むことで生まれる複雑さに衝撃を覚えた。立派な意思になれるようにまずは医学部進学に向けて勉強を頑張りたいと改めて考えた。貴重なお話をありがとうございました。
18	1	9	18	櫻井 聡乃	4	1	1	1	1	5	5	5	5	4	5	講義を聞く前は「科学倫理」と聞いてもどついてもよくわかりませんでした。非常に興味深い内容で、考えさせられることがたくさんありました。主に医療系の内容でしたが、命の重さについて救急時の優先順位などは答えのない非常に難しい問題だと思いました。将来自分も理系の職業に就いたときに、今回の授業のことを活用したいと思えます。
19	1	9	19	杉江 春彦	2	2	2	3	3	5	5	4	3	3	4	どんな現場でも、患者自身の意見がより重要になっていて、それに伴ってどんな境界線もあいまいになっていると感じた。安楽死は法的には認められず、倫理的にも認めることはできないけれど、安楽死もできず苦しみを続けるという倫理的にはいけないことだと思うので、より複雑な問題になっているのでより関心を持って考えていく必要があると感じた。
20	1	9	20	清家 心実	5	4	4	4	3	5	5	5	4	5	5	本日は貴重なお話をありがとうございました。私自身医療に興味があったこともあり、大変楽しい抗議でした。本講義では答えの出ない「倫理」がテーマでしたが、実際に勤務されている医師の声が聞いて参考になりました。本日は本当にありがとうございました。
21	1	9	21	田中 静将	4	1	4	2	4	5	5	4	4	5	5	インフォームド・コンセント、安楽死についてのことなど、そのあたりの詳しいことについて本日まで中学校の公民や道徳の授業で出てくる程度の内容しか知りませんでした。本日の講義は科学倫理、とくに医療に関する倫理の考えを深める、関心を持つきっかけとなりとても感謝しています。講義に出てきた「安楽死」について、私は肯定的です。安楽死に限らず、脳死に関することや、臓器提供などにも通ずることはありますが、当人と親族との間に考えの齟齬が生まれるというのが一つの問題として挙げられると思います。しかし、私としては生に関する全権は個々の本人にのみ属すべきであり、それらに際する決定は本人の医師が確認できる場合、たとえ親族であっても他の人が干渉する権利はないと考えるからです。「安楽死」とは本人が自ら希望のない病の苦痛や恐怖から解放されたいと願う人として当然考えるであろう願望が動機であるので、それを認めないのは万人に苦しんで死んで行けと突き放すようなものではないかと私は思います。先生はどうお考えでしょうか。

		事前アンケート					事後アンケート					7. 今回の講義に関して、意見・感想などを書いて下さい。				
	学年	組	番号	氏名	1. 興味・関心	2. 知識の深さ	3. 考え・意見	4. 未知のもの	5. 事前予習	1. 興味・関心	2. 知識の多さ	3. 事実と意見	4. 自分の意見	5. 疑問	6. 今後課題	
24	1	9	24	野田 千明	5	3	2	1	2	4	4	3			面白い抗議をありがとうございました。倫理観を持って大人になり、自分の職業に生かせるようにしたいです。	
25	1	9	25	早川 翔	4	2	1	2	2	4	5	3	2	4	興味深い講義をありがとうございました。	
27	1	9	27	藤井 叶	5	3	3	3	4	5	5	4	5	5	安楽死の方面に関してより深く考える機会となりました。いろいろな方面の知識をつけて、多角的に物事を考えられるようになりたいと感じました。	
28	1	9	28	藤田 瑞希	4	2	2	2	2	4	5	4	3	3	医療の面と社会問題が複雑に結びついているということを知って医療の問題は社会の問題でもあると感じました。世界では医療の統一が難しいということは、格差が生まれることにつながると思うので、難しい問題だなと思いました。	
29	1	9	29	前田 琉花	3	2	2	2	3	4	5	3	3	4	今回の講義を通して手術や治療においては患者の意思というのが最も優先されるということを知りました。T/2/2/1など制度があることで、明確な定義というのが難しいということも学びました。この制度によって医師の判断だけにゆだねられるわけではなく、患者の意見も取り入れて治療法を決定できるのは素晴らしいと感じた反面、子供に受けさせたほうが良い治療にも関わらず、親の宗教上の理由などにより、受けさせない(子が受けられない)というところはもう少し改善の余地があるのかなと思いました。命に関わることだから、簡単に結論を出すのは難しいと思うけれどそれでも大規模災害時には医師は素早く選別(Triage)をしないとイケないと思って、難しい職業だと思いました。病院に行ったことのない人はいないので全員がお世話になる機関の偉大さを改めて実感させていただきました。	
30	1	9	30	益田 慶士	3	2	4	3	3	4	5	4	5	4	4	医療は命に関わることであり、その命に関して、明確に線引きすることはとても難しいと思います。しっかり区別できるような方法を考えます。
31	1	9	31	松田 佳央理	4	2	3	3	2	5	4	3	3	3	4	医療ドラマでよく見るトリアージは、阪神淡路大震災以降にできたもので、災害現場で医療処置をするときにとても大事なものと分かりました。また、手術などリスクのある治療をするときには必ず患者や家族の同意が必要で、同意がない状態で治療をしようとするとなってしまうと知り、驚きました。「安楽死」についても、まだ日本では認められていませんが、難病で苦しみながら生きていくよりは死んだほうが良いと考える人もいると思うので「安楽死」の在り方についてはさらなる議論が必要だと思いました。面白い講義をありがとうございました。
32	1	9	32	間之川 賢人	5	4	4	3	4	5	3	4	4	4	4	医学系研究や医療における科学倫理で、インフォームド・コンセントが大事であることが分かった。特に同意(Consent)においては小児や障害者のような会話が難しい患者であったとしても保護者などを通して行う必要があることがわかった。私は神大のROOTプログラムに参加しており、そこで研究倫理に関する講義を受けたことがありました。そこでは捏造・改ざん・盗用のような実験をする時に注意しなければならないことを学びました。今回の講義は、それとは違って医療という実践的な場での倫理観も学ぶことができ、自身の知見を広げることができました。今回貴重なお時間を頂き、講義をしてくださった藤岡先生に深く感謝を申し上げます。
33	1	9	33	水上 絢音	4	2	3	3	3	4	4	4	4	4	4	講義ありがとうございました。これまで私は確実に理系の進路に進むと考えていて、文系科目を捨てているところがあつたけれど、今日のお話でいろいろな視点を知ることができてもっと様々な分野に目を向けていきたいと思いました。
34	1	9	34	三宅 克典	5	4	5	4	5	5	3	5	5	3	4	口癖から医者にかかるといふことがよくあるため、インフォームド・コンセントが行われていることが当然と気づくような感覚に陥っていました。しかし、今回の講義で阪神淡路大震災がきっかけで医療が整備されたことを鑑みると、関係が少なからずあつたのではないかと考察しました。倫理について興味があり、道德の基本となる倫理については自分で学習していました。しかし、医療の倫理はあまりなじんでいなかったことから、今回の講義は大変考えさせられるものとなりました。将来の職業に活かされるかはまだわかりませんが、活用できる場所は積極的に意識していきたいです。
35	1	9	35	森本 拓也	5	3	4	4	2	5	4	4	4	3	4	普段我々の接している数学や物理化学といった例外的なものとは違い、医学、それに深くかかわる科学倫理について非常に面白い講義だった。ただ、病気を治すということのみならず、患者の気持ち、苦痛といった熟慮せねばならないこともあり、今後自分が医療をするときにもしっかり考えていこうと思った。
36	1	9	36	矢部 航資	2	2	2	4	2	4	3	4	3	3	2	患者重視の医療は時に意見の隔離を生み出すのではないかと考えた。
37	1	9	37	山口 紗葵	4	1	2	2	2	4	4	2	2	4	5	「科学倫理」と聞いて、どんな話をするのか全然わからなかったけど、社会や保険の教科書で見たことのある、多岐にわたった知識を、医学の観点からまとめて教えていただけてとても分かりやすかったです。倫理の観点は国によって様々な価値観があるとありましたが、その中でも1人1人の倫理感がさらに異なってくると思うので、将来私はどんな職業をしているかわからないけど、倫理的な問題に直面した時多様な観点から多くの人が納得できる答えを出せる人間になるため、倫理についてこれから学ぼうと思いました。
38	1	9	38	山田 結菜	3	2	3	2	4	4	3	5	5	3	4	面白い講義をありがとうございました。今回のお話を聞いて医療への興味が持てました。
39	1	9	39	山本 眞凧	5	3	3	3	4	5	5	5	5	5	5	医学の観点から倫理を考えるのは新しく考えさせられることも多く勉強になった。
40	1	9	40	吉田 瑞	4	2	2	3	2	4	4	2	4	3	4	ニュースで「倫理委員会が〇〇を許可した」とのニュースを見たことがあつたが、具体的にどんなことをしているのかは知らず「残酷すぎないか確認したんだなあ」と軽い気持ちで考えていたが、紀元前から医療倫理について考えられていると知り驚いた。自分も医学に興味があるが、トリアージにはセカンドオピニオンがなく、緊急事態下では患者の命の重さを一人で決定することになるので、医師の責任の重さを改めて感じた。今回は理系知識だけでなく、倫理という文系の知識も得ることができて今後の進路についても一考する機械となったのでとても有意義な時間だった。
0					0	12	8	6	4	0	0	0	0	0	0	
					4	14	11	13	14	0	0	2	3	3	1	
					7	7	8	10	7	2	6	9	11	14	6	
					14	3	7	6	10	17	11	15	13	12	20	
					11	0	2	1	1	17	19	10	8	6	8	
					36	36	36	36	36	36	36	36	35	35	35	
平均					3.9	2.0	2.6	2.5	2.7	4.4	4.4	3.9	3.7	3.6	4.0	
事後-事前										0.5	2.3	1.4	1.2	1.1	1.3	